

## 《四季のための二十七晩》

1970 年代の初めにあって、土方巽が「舞踏」を展開するのにどこまで戦略的であったのか、しかとは分かりません。しかし、後から見れば、1970 年を境に新たな舞踏へと踏み出したことは確かです。その大きな達成が、72 年の舞踏公演《四季のための二十七晚》です。この公演こそは、土方巽の舞踏史において最大の記念碑的事業となりました。

すぐる4年前の舞踏公演〈肉体の叛乱〉で土 方巽は決定的に意味づけられました。「〈肉体 の叛乱〉を「アブジェクシオンとしての土方巽 の舞踏」と措定し、土方巽の舞踏をめぐる言葉・ 言辞は、その記号としての両義牲(あるいは 多義性)をもって、さらには伝達の困難さや 不可能性をもって、アブジェクトと見なすこと ができるでしょう。

《四季のための二十七晩》は〈肉体の叛乱〉から4年後です。その半ばに三島由紀夫の自死に至る出来事がありました。この年 1970 年に三島は律儀にも、土方巽が演出するショーダンスを観賞し、土方巽が構成する展覧会のオープニングにも現れました。その三島の死こそが、土方巽が体現していたアブジェクト(おぞましさ)を一蹴したとも言えます。

三島が自死し、しかし土方巽は生き延びなけ

ればならないのです。土方巽は死に抗い生き 延びるためにどうしたのか。その答えが《四 季のための二十七晩》であったのでしょう。



《四季のための二十七晩》フライヤー 写真「土方巽と阿部定」 (撮影・藤森秀郎)

### 展示作品・資料

- ・映像「疱瘡譚」(大内田圭弥) より 「バイレローのシーン (15分)
- ・衣裳「あざみ」(「ギバサン」より)
- ・写真「あざみ」連作(倉橋正)
- ・写真 〈疱瘡譚〉より 「ライ病者」のシーン (小野塚誠)
- ・写真 〈ギバサン〉より「磔刑」のシーン (小野塚誠)
- ・舞踏譜 「ベーコン初稿」(土方巽)
- ・楽器 「金属板」(佐藤康和 YAS-KAZ)
- ・ポスター 「燔犠大踏鑑 四季のための二十七晩」 (写真・吉野章郎、小野塚誠)、 「静かな家」(写真・山崎博、デザイン・田中一光)
- ・フライヤー 「燔犠大踏鑑 四季のための二十七 晩」(写真・藤森秀郎)
- ・映像「土の土方と水滴の時間」 (10分 30秒)
- ・木組み「土の土方巽像」(吉江庄蔵) 塑像のための心棒(木と縄)
- ・マケット 「土の土方巽像」(石田信裕) 塑像のための原型(FRP)
- ・絵画 「土方巽と疱瘡譚のために」 (香川大介)(戸板と布)

#### 関連イベント

香川大介 ライブ・ペインティング アート・スペース正面壁面 7月4日[月]・5日[水]



香川大介 「病める舞姫」のライブ・ペインティング 2012 年 9 月 BankART1929

# 〈疱瘡譚〉

土方巽は、実に27夜連続上演という驚異的な舞踏公演《四季のための二十七晩》を敢行して舞踏に新たな地平を開くことになります。《四季のための二十七晩》は5作品から構成されていましたが、その最初の作品が〈疱瘡譚〉です。

〈疱瘡譚〉は「存在論的なスケールにおいても深みにおいても、土方巽が十数年の試行のすえに開きつつある世界の圧倒的な提示であって、二十七晩の連続公演のはじまりにふさわしい」(天沢退二郎)と評されました。「その開きつつある世界」とは何でしょうか。土方巽が新たな、いわば二度目の舞踏宣言を経て、〈疱瘡譚〉に至りました。

土方巽はこの〈疱瘡譚〉をもって、ダンスの身体をめぐる観念を転倒し、ダンスの振付や動きに新しいメソッドとスタイルを導入し、ダンスのパラダイムを転換させました。〈疱瘡譚〉の世界、〈疱瘡譚〉の身体、〈疱瘡譚〉の方法、〈疱

瘡譚〉の音楽が問われます。〈疱瘡譚〉は、いずれにしろ、それまでの土方巽の舞踏を一変させるとともに、日本はもとより、その後の世界の舞台芸術にとっても画期的な舞踏作品となりました。

本展のようなささやかな展覧会で、「開きつつある世界」の全てを示すことは到底できません。しかし、土方巽がこの間にとった時間軸に即して、土方巽の舞踏の根拠を記憶の「秋田」に戻すことから、いずれ「世界」へと広がる普遍性を獲得する道筋をたどり始めるためにも本展を開催する意義はあるでしょう。

「コロナ」から「疱瘡」へと遡及して、半世 紀前の土方巽の舞踏に回帰しつつ、あらため て土方巽が求めた日本の踊りのオリジンを採り ます。

#### 〈疱瘡譚〉動画

〈疱瘡譚〉(8mm 版) を ご覧いただけます。



慶應義塾大学アート・センター 〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 Keio University Art Center 2-15-45, Mita, Minato-ku, Tokyo, 108-8345 Tel. 03-5427-1621 / Fax. 03-5427-1620 http://www.art-c.keio.ac.jp/ ac-tenji@adst.keio.ac.jp/

